

市民自治(地球的平和)に関する基礎理論的研究

研究分野:市民自治論、地方自治論、行政学、公法学、平和学

キーワード:自治、協働、SDGs、シティズンシップ、地球的平和

貢献できるSDGsの区分:



地域創造学部 公共政策学科 教授 黒木 誉之

教員情報URL <https://sun.ac.jp/researchinfo/kurogi/>

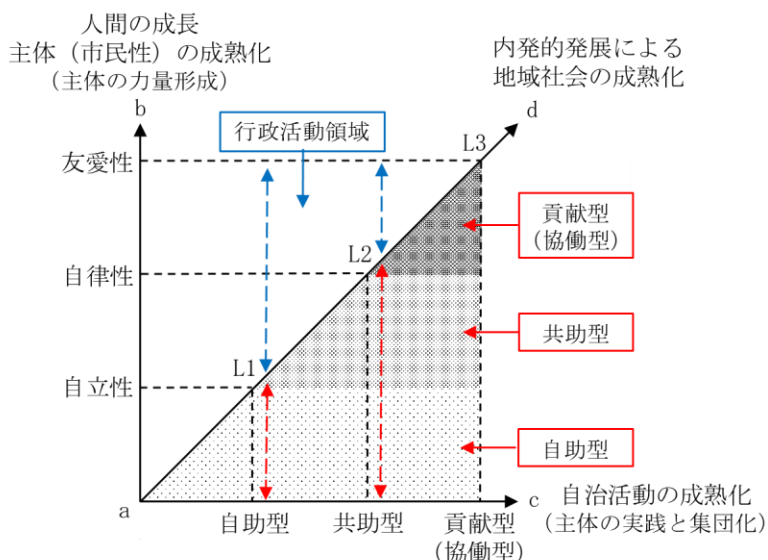
研究概要

地方自治を「自治(デモクラシー・民主主義)」という視点から研究を重ねています。現代の社会構造は、ガバナメントという行政による一元的な統治社会から、市民、NPO、企業そして行政等の多元的な主体によるガバナンス、協治社会へと変容してきました。このガバナンスを支えているのが「協働」です。この「協働」は市民の自治意識を前提とすることから、市民性を「自立性」「自律性」そして「友愛性」へと発展的に育み、自治的社会へと成熟化させていく必要があります。分権(Skill)から自治(Will)へ、「モノづくり」から「ヒトづくり」へのパラダイム・シフトです。地方自治の政治的教育機能を具現化するための制度設計が、今、ガバナンスには求められています。

そこで、これまでの地方自治を再考し、「自治」「協働」「SDGs」「シティズンシップ」「内発的発展」「ソーシャル・キャピタル」「サードプレイス」等をキー概念に、「市民自治に関する基礎理論」について研究を重ねています。

そして、この研究を地域、国家、国際社会へとステージを広げ、「地球的平和構築に関する基礎理論」の確立を目指しています。
※2013年度自治体学会研究論文賞受賞。

図:内発的発展による地域社会成熟化モデル



出所:黒木誉之「内発的発展の主体形成に関する基礎理論的研究」日本地方自治研究学会『地方自治研究』Vol.36、No.1、2021年、38頁。

産学連携の可能性 (アピールポイント)

- 研修講師 その他
- ※出来ることに限りがあるとは思いますが、何かございましたらご相談ください。

外部との連携実績等

- 2021年度 公共政策実習・教員プロジェクト「SDGs未来都市の取り組み -熊本県水俣市を事例として-」
- 現地フィールドワーク(ゼミ活動含む) 長崎県波佐見町、宮城県南三陸町、熊本県阿蘇市・水俣市・益城町・和水町 その他
- 地域連携:地域公開講座/高大連携等:出前講義 講師 「これからの地方自治ーガバナメントからガバナンスへ」「体験しよう!防災シミュレーションゲーム『クロスロード』・『HUG』」 その他 ※「防災士」。
- 学外委員 第7次佐々町佐々町総合計画審議会会長 その他